

アベ政治を許さな

安倍暴走政治とキッパリ対決

みなさんの願い 政治に生かします

七尾市議選
10月15日告示
22日投票

定数4減・18議席

日本共産党七尾市委員会が市議選の予定候補者を発表しました

いそがい和典

(現3期)
67歳



●プロフィール
1949年 七尾市佐味町に生まれる。
1968年 七尾工業高校卒(第1期生)、
72年 金沢工業大学卒。金沢民主商工会・七尾民主商工会勤務を経て、松任・石川民主商工会事務局長。02年春に退職後、佐味町の実家で農業。03年4月七尾市議選に立候補、05年10月の市議選で当選し現在3期目。
<現在>七尾市議、日本共産党石川県委員・能登地区副委員長・七尾市委員、七尾社会保障推進協議会代表委員、原発問題住民運動能登地域連絡センター事務局長。
<家族>妻と2男1女、母。

いそがい 市議会議員 議員 かずのり

私は、議員活動を通して、とくに安倍自民公明政権による消費税8%への増税、年金カット、農業破壊：などが、暮らし・経営を深刻なものにしていると痛感しています。ですから七尾市には、市民の暮らしに目を向けて、“国の悪政の防波堤”の役割を發揮すべきだと求めてきました。みなさんが苦勞して納めた税金の使い方を、暮らし・福祉応援を最優先にするよう求めて引き続きがんばりたいと決意しています。どうかよろしくお願いいたします。

子育て支援の充実で“選ばれる”七尾市に!

- 子どもの医療費18歳まで窓口無料に
- 保育料の「2人目無料」を所得制限無しで
- 学校給食費も「2人目無料」に
- 高すぎる国保税 県内 1世帯2万円引き下げ
夫婦と子ども2人のモデル世帯の比較では2年連続で県内トップの国保税になっています。(県社会保障推進協議会の調査) 国保会計には5億3千万円の基金(貯金)があります。1世帯2万円の引き下げに十分な資金です。
- 在宅介護に「介護手当」支給制度を
志賀町では5千円、川北町では5万円の「在宅介護手当」を支給しています。

住宅リフォーム助成制度で地域経済活性化

津幡町・内灘町・羽咋市など実施した市町での経済波及効果は抜群です。毎年5千万円ですと続けることを提案します。

財源はあります---市長の決断の範囲です

- 国保会計には「基金」(貯金)が5億3000万円ある。
- 財政調整基金(市が自由に使える貯金)は50億円。
- 合併による地方交付税の減額予定19億円が10億円になって毎年9億円のゆとりが生まれた。
- 市の財政は毎年黒字。
- 上の政策を全部実行しても予算総額の2%未満。

